



週刊

こんにちは日本共産党です

八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047(752)0453 植田 進 ☎047(487)9754
伊原 忠 ☎047(488)7207

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第381号

2018年9月17日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

子どもたちが安心して食べられる給食を

八千代市の学校給食は小学校22校のうち4校が自校給食校で、その他は給食センターでつくられた給食が学校に運ばれてきます。中学校はすべて給食センターです。

八千代市は、新設校は自校給食校にする方針で、阿蘇小学校、大和田小学校の他にも萱田小学校や新木戸小学校を自校給食校としてきました。

ところが萱田南小学校設立以来、市民との合意を覆し、センター給食へと方針転換してしまいました。

日本共産党は、「子どもたちへの食育、安全な食材と作り手の見える給食提供に反する」とし、自校給食への切り替えを求めてきました。



■自校給食校の利点

①温かいものは温かく、冷たいものは冷たいまま提供することができる。②地産地消で安全な食材が提供できる。③子どもたちに作り手が見える給食。④食中毒などがおきた場合最小限に食い止められる。⑤学校行事に合わせて食べる時間を調整してくれるのでゆっくり食べられる。さらに行事に合わせた献立で子どもたちにも喜ばれています。⑥給食の時間が確保され、ゆっくりと食べることができる。また、⑦災害時にも食材があるため学校に残された方々の炊き出しができるなど様々な利点があります。

今回は2017年度の各学校の残菜率を出しました。この数字に対して担当課は「センター給食校が自校給食校より低い残菜率を出している学校もあるので、一概に自校給食がいい（しっかり食べている）とはいえない」と言いましたが、この数字を見て本当にそうでしょうか？

おいしい、おいしくないの問題ではなく、給食センターからの食器の回収時間に追われて「子どもたちがゆっくり食べる時間が無い」という問題もあることを指摘しました。

八千代市は老朽化した村上調理場を建て替える計画でいます。完成すると、現在の自校給食4校もセンター給食へ切り替える方針です。子どもたちに安心して食べられる自校給食校へ方針を切り替えるよう求めています。

裏面に各学校の残菜率→

学校ごとの残菜率

	小学校		中学校		
○	大和田小学校	3.8		八千代中学校	12.1
	睦小学校	16.1		睦中学校	10.5
○	阿蘇小学校	4.0		阿蘇中学校	9.2
	村上小学校	18.4		勝田台中学校	12.7
	八千代台小学校	14.6		大和田中学校	13.3
	八千代台東小学校	13.3		高津中学校	17.1
	八千代台西小学校	16.9		八千代台西中学校	13.5
	勝田台小学校	14.1		村上東中学校	7.8
	勝田台南小学校	12.0		東高津中学校	11.8
	米本小学校	22.4		村上中学校	15.2
	米本南小学校	15.6		萱田中学校	16.2
	西高津小学校	11.4			
	大和田南小学校	10.0			
	高津小学校	13.7			
	南高津小学校	13.9			
	村上東小学校	17.9			
	大和田西小学校	13.5			
	村上北小学校	18.4			
○	新木戸小学校	8.3			
○	萱田小学校	9.8			
	萱田南小学校	6.8			
	みどりが丘小学校	11.7			

* ○印しは単独給食校